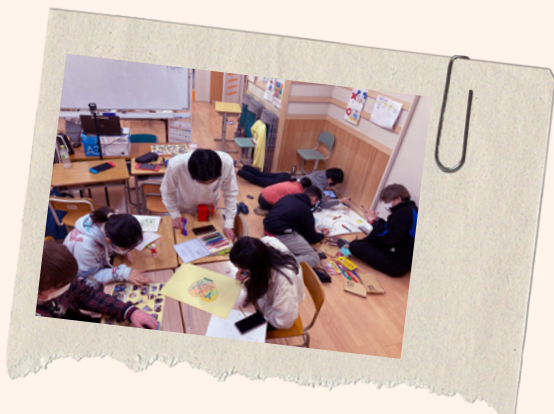


日系サポーター体験記③

日系社会研修（多文化共生推進/日系協力型）
通称「日系サポーター」研修
「青少年活動/外国にルーツを持つ
子どもたちへの支援研修」コース

帰国研修員 ソトマヨルハンセルさん（ペルー）

活動期間: 2022年11月～2023年3月
活動先: YSCグローバルスクール（東京都）



ハンセルさんは東京都福生市にあるYSCグローバルスクールで5ヶ月間、中南米をはじめ様々な国にルーツをもつ子供たちと向き合い、ご自身が日本で育った経験も活かしながら学習支援を行いました。

YSCグローバルスクールでは、日系サポーターとしてどのような役割を担っていましたか？

先生と生徒の間を繋ぐ、授業中のささいな疑問に答えたり、日々の悩みを聞いたりする存在になれたと思います。教える・アドバイスする分、自分も生徒たちから沢山学びました。また、先生が円滑に授業を行えるように問題集やプリント作り、オンライン授業の準備などのサポートも行っていました。

生徒のみなさんと過ごす中で心がけたことはありますか？

どのような生徒がいるのか、日本語力や性格など一人一人を観察しながらコミュニケーションを取り、信頼を得ることから始めました。生徒数が多く、国籍は多様で、その上オンラインで県外から参加する生徒もいたため、初めは顔と名前を覚えることが大変でした。南米にルーツを持つ子供たちもいましたが校内では必ず日本語を使わなければいけなかったため、できるだけスペイン語を使わず、簡単な言葉で説明することを心掛けました。

ハンセルさんも日本とペルーを行き来した経験から共感できたことや、サポートできたことはありますか？

日本に移住してきた外国にルーツがある子供たちとは反対に、自分の場合は日本で育ちペルーに移り住みましたが、新しい地に移動したという意味では同じ経験をしています。生徒たちは様々な悩みを抱え込んでしまい、なかなか相談できる相手がいません。

何か考え込んでいそうな生徒がいたらこちらから声をかけて、同じ目線で話を聞き、「自分もこういうことがあったよ」と寄り添うようにしました。

日系サポーターとして研修・活動していく中で得た学びはありますか？

授業をサポートしている中で学んだことは、丁寧な教授法です。クラス内で語学力の差がある中、「やさしい日本語」を使って分かりやすく説明を行う大切さや、コミュニケーションの取り方などがとても大切だと感じました。



今回の経験を活かして、今後どのような活動をしてみたいですか？

日本語のオンライン教室を開いてみたいです。SNSを使った発信や、グラフィックデザインの知識を活かして若い世代に日本文化・日本語を広めたいと考えています。

日系サポーターに応募してみたいと考えている人へのメッセージをお願いします。

ペルーに住んでいると、在日日系人の現状はなかなか分からないと思いますが、日系サポーターでの研修・活動を通してたくさんの学びがあります。また、同じように日本在住経験がある方は、日本語が出来ることを活かして支援を行うチャンスです。



日系サポーターとは

日本国内の日系人集住都市に中南米から日系人をJICA研修員として受け入れ、保育園・幼稚園・自治体・NGO・企業などで研修を受けながら、在日日系人のために日本語/母国語サポーター、ソーシャルワーカー、相談役といった役割も果たし、在日日系人のサポート、日系人集住都市の多文化共生・地域創生に貢献する研修です。